

議会だより

Vol.
192
2017.10.19

9月の
定例会

② 徹底調査
300億円の予算執行を認定!

⑪ ズバリ!! 町政を問う
5議員が質問

⑳ 現地視察
特定廃棄物埋立処分場の安全を確認

㉓ 追跡レポートと
議員提言のゆくえ

震災後初! ふるさとでの開催 / 富岡町敬老会

徹底調査 300億円 の予算執行を認定!

《一般会計 220億円 特別会計 80億円 合計 300億円》



【さらなる適正な予算要求と執行管理等の遵守を求める】 坂本代表監査委員の審査意見

平成28年度決算は、平成29年4月の帰町に向けた多くの事業が急ピッチで展開されたことなどから、過去最大の決算規模となっているが、総体的に概ね適切に事務処理が行われたと評価する。しかし、特別会計において、一部不適切な事務処理により収入未済を生じさせた事案もあったことから、今後はさらなる適正な予算要求と執行管理、財政規律の遵守とチェック体制の強化を求める。

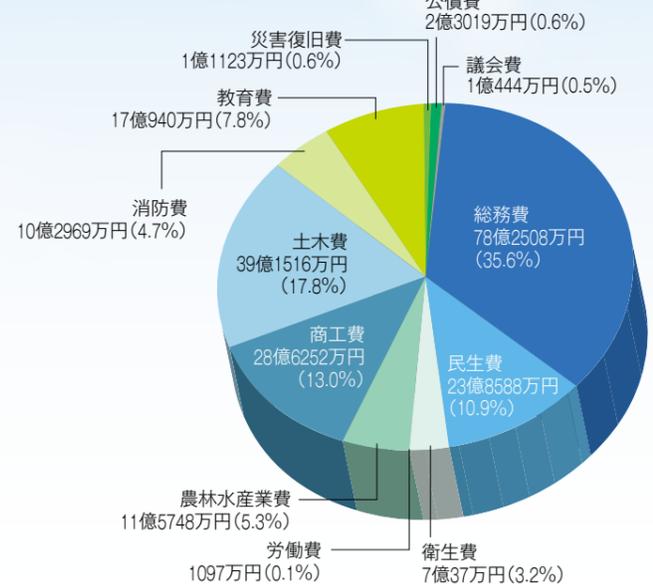


平成29年9月定例会は9月12日から14日まで3日間の会期で開催しました。平成28年度一般会計及び特別会計の決算認定をはじめ、平成29年度の補正予算、条例の一部改正、不動産の取得案件、人事案件、協定の締結案件など、計29件の議案を慎重に審議し、全会一致で可決しました。また、震災以降実施できていなかった決算認定に伴う現地調査(さくらモールとみおか・富岡駅前交通広場)を行いました。一般質問では5議員が登壇し、今後直面する課題や町政運営のあり方について問いいただきました。

歳出(支出)の主なもの

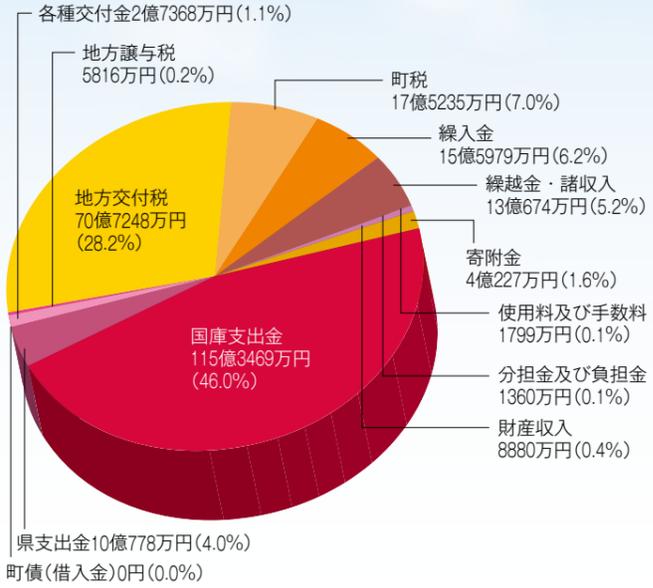
- 総務費 (一般的な管理に要する経費) 78億2508万円 (前年度 47億2920万円)
- 庁舎機能回復事業費 (平成28年度分) 7億6979万円
- 民生費 (町民が安定した生活を送るための経費) 23億8588万円 (前年度 19億7772万円)
- 社会福祉費 14億4529万円
- 衛生費 (衛生的な生活環境を保持するための経費) 7億37万円 (前年度 8億1823万円)
- 保健衛生費 5億7478万円
- 農林水産業費 (農林水産業の振興に要する経費) 11億5748万円 (前年度 6億9478万円)
- 農業費 11億3969万円
- 商工費 (商工業の振興に要する経費) 28億6252万円 (前年度 13億9146万円)
- 商業拠点施設整備事業費 20億8604万円

歳出(支出)



- 土木費 (道路の維持管理、公営住宅の建設などに要する経費) 39億1516万円 (前年度 26億418万円)
- 公営住宅整備事業費 16億7102万円
- 教育費 (学校教育や社会教育に要する経費) 17億940万円 (前年度 5億3370万円)
- 学びの森施設改修費 9億2638万円
- 公債費 (町の借金返済に要する経費) 2億3019万円 (前年度 2億5426万円)

歳入(収入)



- 地方譲与税 (国が徴収した自動車重量税などから配分されたお金) 5816万円 (前年度 6274万円)
- 地方消費税交付金 (国が徴収した消費税のうち、町分として国から交付されたお金) 2億5551万円 (前年度 3億85万円)
- 地方交付税 (税収不足を補うために国から配分されたお金。財源は所得税や法人税などの国税の一部) 70億7248万円 (前年度 30億4550万円)

歳入(収入)の主なもの

- 町税 (皆さんが町に納めた税金) 17億5235万円 (前年度 19億2854万円)
- 町民税 5億9617万円
- 固定資産税 10億9903万円
- 繰入金 (収入の不足を補うために、基金(貯金)等から取り崩したお金) 15億5979万円 (前年度 24億5967万円)
- 繰越金 (前年度から繰り越されたお金) 10億7051万円 (前年度 7億798万円)
- 諸収入 (雑入など、その他の収入) 2億3623万円 (前年度 6億9407万円)
- 使用料及び手数料 (住民票や印鑑証明などの手数料収入) 1799万円 (前年度 1529万円)
- 国庫・県支出金 (特定の目的のために国や県から交付されたお金) 125億4247万円 (前年度 63億371万円)
- 国庫支出金 115億3469万円
- 県支出金 10億778万円

現地視察 さくらモールとみおか・駅前交通広場 工事施工状況を確認



平成29年9月13日、決算認定に伴う現地調査を実施しました。
調査実施箇所は、さくらモールとみおかと富岡駅前交通広場です。



さくらモールとみおか



富岡駅前交通広場

【富岡町複合商業施設改修工事】

- ①ホームセンター、共用通路、イートイン、飲食店
工期：平成28年7月19日～平成29年3月31日
工事請負額：13億7519万3160円(大和リース福島支店)
- ②ツルハドラッグ、貸事務所
工期：平成28年12月25日～平成29年3月31日
工事請負額：2億7465万1560円(大和リース福島支店)

【JR駅前交通広場整備工事】

- 駅前広場整備、バスホームシェルター、公衆用トイレ
工期：平成28年5月28日～平成29年3月15日
工事請負額：2億1636万3960円
工事請負者：(株)高葉建設

※JR跨線橋橋台建設工事及び上部鋼橋製作工事も併せて確認

町財政は
健全化基準を
クリア

実質公債費比率(歳入に対する借金返済の割合)が早期健全化基準の25%を超えると、町の財政が危険な状態であると判断され、財政再生計画の策定等が義務付けられます。

平成28年度の実質公債費比率は6.1%で基準を大きく下回っており、富岡町健全化判断比率及び資金不足比率は極めて適正であるとの報告を受けました。

健全化判断比率の状況

(単位：%)

指標項目名	28年度	27年度	26年度	早期健全化基準	財政再建基準
実質公債費比率 ※歳入に対する借金返済の割合	6.1	6.2	7.9	25.0	35.0

実質赤字比率：一般会計を対象とした歳出歳入の赤字額の割合
連結実質赤字比率：全ての会計を対象とした歳出歳入の赤字額の割合
将来負担比率：公社や第3セクターなども含め、将来負担すべき借金の割合

いずれも算定されていない。

平成28年度一般会計および特別会計決算を全会一致で承認

会計別	歳入	歳出	歳入歳出差引額	
一般会計	250億8839万円	220億4243万円	30億4596万円	
特別会計	国民健康保険事業	36億8332万円	32億6125万円	4億2207万円
	蛇谷須地区特定環境保全公共下水道事業	4180万円	3922万円	258万円
	公共下水道事業	22億5914万円	22億5657万円	257万円
	農業集落排水事業	4億8358万円	4億2485万円	5873万円
	曲田土地区画整理事業	4億6302万円	4億3024万円	3278万円
	介護保険事業	15億7483万円	15億1455万円	6028万円
	後期高齢者医療事業	3838万円	3599万円	239万円
	仮設診療所	4007万円	2991万円	1016万円
	介護サービス事業	708万円	667万円	41万円
合計	336億7961万円	300億4168万円	36億3793万円	



全ての会計は適正である

平成28年度 決算質疑



問 空き地・空き家バンクの成立件数は。(安藤止純)

答 企画課長

今までのところ、取引成立に至った案件はありません。現在、空き家24件、空き地64件、空き事務所1件の登録申請があり、そのうち10件ほどをホームページ等に掲載しています。物件の問い合わせ、申し込みは3件ほどありますが、まだ取引成立には至っていない状況です。

問 震災前からある消防車両はこのまま維持していくのか。(早川恒久)

答 生活環境課長

現在の車両を維持しながら、継続して使用していく考えです。

問 全ての車両をしっかりと試運転しているのか。(早川恒久)

答 生活環境課長

現在パトロールを行っている見回り隊と協議し、放水までしっかり行う試運転を実施したいと思います。

問 決算における不用品が多い。設計段階から、所管課、工事担当課がもっと綿密に協議するべきでは。(遠藤一善)

答 総務課長

大規模な工事が多く、見積りが難しいということもありますが、設計、見積りについて、より正確に積算をし、予算計上していきたいと考えます。

問 設計、見積りを事務方と技術両方で確認する必要があるのでは。(遠藤一善)

答 総務課長

工事に限らず、職務全般において、横のつながりを密にし、業務に取り組むよう注意を促していきたいと考えます。



坂本和久さん
(夜の森南)

富岡町監査委員の任期満了に伴い、坂本和久氏を再任する議案が提出され、適任であると決議しました。
(9月定例会
全会一致 原案可決)

人事案件

坂本和久氏を 監査委員に再任

富岡町は本年4月1日に帰還困難区域を除き、避難指示が解除されましたが、ふるさと復興はまだスタートの復旧はまだまだスタートしたばかりだと感じています。帰還困難区域はこれから復興拠点整備事業が開始され、復興への道のりはとても長いものになると思います。

今後、町執行部、議員の皆さんとともに、微力ではありますが、ふるさとの復興のために汗を流していきたいと思っております。ご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。

こんなことが決まりました

坂本和久監査委員 ごあいさつ

富岡町は本年4月1日に帰還困難区域を除き、避難指示が解除されましたが、ふるさと復興はまだスタートの復旧はまだまだスタートしたばかりだと感じています。帰還困難区域はこれから復興拠点整備事業が開始され、復興への道のりはとても長いものになると思います。

選管委員および 同補充員を選出

選挙管理委員4人および同補充員4人を選出しました。任期は平成33年9月27日までの4年間です。

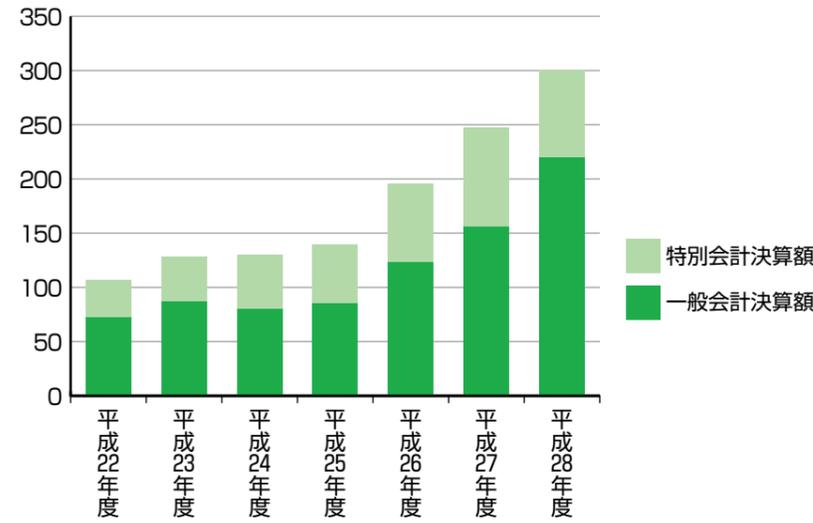
選挙管理委員

- 石井 功 さん (下郡山)
- 渡辺 鉄男 さん (中央)
- 中田 寛 さん (夜の森南)
- 坂本 久美子 さん (西原)

補充員

- 穴戸 弘道 さん (新夜ノ森)
- 遠藤 則政 さん (高津戸)
- 猪狩 千鶴雄 さん (仲町)
- 林 修 さん (上本町)

震災前と比較して、決算額が3倍に！



【決算分析】
震災直前の平成22年度の決算額と平成28年度の決算額を比べると約3倍になっている。特に、平成29年4月の町内帰還を見据えて、施設の改修が本格化した平成26年度から事業費が大きく増加している。その事業費の財源はというと、行財政運営の要である町税等の自主財源の多くが非課税であることから、国県による各種交付金に依存せざるを得ない。

(単位：億円)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
一般会計	72	87	80	85	123	156	220
特別会計	35	41	50	55	73	91	80
合計	107	128	130	140	196	247	300

今後、復興創生期間が終了した後の財源をどう確保するかが、当町の大きな課題となる。

※復興創生期間…平成32年まで

【震災以降の主な大規模工事】



《さくらモールとみおか改修費：およそ28億6771万円》
※P3商工費(平成27年度分…8億2781万円
平成28年度分…20億3990万円)



《役場庁舎改修費：およそ12億3679万円》
※P3総務費(平成27年度分…4億6700万円
平成28年度分…7億6979万円)



《公営住宅整備事業費：およそ16億7102万円》
※P3土木費



《学びの森改修費：およそ9億2638万円》
P3教育費

古里との絆を保てる施策に取り組む 町政報告要旨

【2期目の抱負】

この度の町長選挙において、多数の方々のご支持、ご声援のもと、2期目の当選を果たすことができました。再度町政のかじ取りを担わせていただくこととなりました。これまで、医療や買い物、交通等の様々な生活インフラの整備等「ふるさと富岡」の復興・復興、そして、富岡町の継承に努めてきました。また、多くの

方々より「途切れることのない復興の歩み」のご意見やご要望等の叱咤激励を賜りました。これからの4年間につきましても、第二次復興計画に掲げた「町民一人ひとりの“心”の復興」と「町民の心をつなぐ」ふるさと富岡の復興を実現するために、引き続き邁進してまいります。

【町内外支援の充実】

学校再開、各種施設

【課題に全身全霊で】

帰還困難区域の復興・再生や交流人口の拡大等、様々な課題が山積しておりますが、関係機関との連携を密にし、諸問題の解決や町の発展のために全身全霊をかけて突き進んでまいります。



町政報告をする宮本町長

不動産の取得

防災集団移転促進事業に伴う不動産取得

富岡町防災集団移転促進事業に伴う不動産の取得について、可決しました。

(8月臨時会
全会一致・原案可決)

【取得する不動産】

富岡町防災集団移転促進事業移転促進区域内
(小浜、大字小浜字反町、大字仏浜字釜田)
面積：95,876.26㎡

【取得予定価格】 1億8883万1508円

災害公営住宅を取得

富岡町災害公営住宅整備事業(第2期第3工区分1棟50戸)における住宅等の取得について、可決しました。

(9月定例会
全会一致・原案可決)

【取得する不動産】

敷地：富岡町大字小浜字中央583番地
構造：鉄骨造4階建 1棟50戸及び付帯施設等

【取得予定価格】 14億446万4400円

【契約の相手方】 積水ハウス(株) 郡山支店

工事契約

保健センター機能回復工事契約

富岡町保健センター機能回復工事の請負契約について、可決しました。

(8月臨時会
全会一致・原案可決)

【工事請負契約の概要】

- 名称 富岡町保健センター機能回復工事
- 工期 平成30年3月16日まで
- 契約金額 1億9100万8800円
- 契約相手方 富岡町大字仏浜字西原244(株)倉伸

総合スポーツセンター災害復旧工事契約

富岡町総合スポーツセンター災害復旧工事の請負契約について、可決しました。

(8月臨時会
全会一致・原案可決)

【工事請負契約の概要】

- 名称 富岡町総合スポーツセンター災害復旧工事
- 工期 平成30年3月30日まで
- 契約金額 1億8075万9600円
- 契約相手方 富岡町大字仏浜字西原244(株)倉伸

協定の締結

万象ホールディングスと公害防止協定の締結

(株)万象ホールディングスのロックウール製造工場操業にあたり、公害防止のため協定を締結しました。

(9月定例会
全会一致・原案可決)

条例の一部改正

個人情報保護条例の改正

個人情報保護法等改正法による「個人情報」の定義の明確化「及び「要配慮個人情報の取り扱い」に係る既定の整備を行うため、改正しました。

(9月定例会
全会一致・原案可決)

表彰

故渡辺晃氏に叙勲 旭日単光章

故渡辺晃氏に旭日単光章が贈られ、9月1日に伝達されました。同氏は平成12年3月から平成24年3月まで3期12年の長きにわたり町議会議員を務め、地方自治の振興発展と住民自治の向上に寄与されました。

このたびの叙勲は同氏の生前の功績に対して贈られたものです。



故 渡辺晃氏



渡辺正道 議員 (57歳)

渡辺正道氏 議員補欠選挙に無投票当選

議員辞職に伴う7月20日告示の町議会議員補欠選挙で、渡辺正道氏が初当選しました。任期は平成32年3月30日までで、産業復興常任委員会、議会報編集特別委員会に所属します。

【抱負】

今回の補欠選挙におきまして、当選させていただきます。一時の停滞も許されない復興途上の富岡町において、かつての良き富岡を残しつつ常に町のあるべき姿を考え、職業人として培った30年の経験をもとに、生活環境の改善・心の豊かさを求め、現在も町内外で様々な想いを抱え生活している皆様の、笑顔が一つでも増える様、一議員として日々努力し、活動していきたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い致します。

寄付

福岡県・大分県に義援金を送付

富岡町議会は大雨により甚大な被害を受けた福岡県・大分県の両県議会に、7月20日付で義援金を送付いたしました。

福岡県・大分県の皆様にお役立ていただき、1日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。



町内環境整備大きく推進

スバリ!! 町政を問う

5 議員が質問

9月定例会の一般質問に5議員が登壇し、町の対応や考えなどを問いました。この紙面では、質問した順に質疑応答の要点をお知らせします。

1 堀本 典明 議員 12

- 道路整備計画の考えは
- 合宿センターを町民に貸し出す考えは



2 遠藤 一善 議員 13

- 2期目のまちづくり方針は
- 河川及び水路の整備促進を



3 安藤 正純 議員 14

- 生活サポート補助金を創設せよ
- 復興拠点整備計画の進捗は



4 渡辺 三男 議員 15

- 国際共同研究棟を取り込んだ政策は
- 復興拠点整備の範囲は
- 側溝の除染は



5 高野 匠美 議員 16

- 帰町された方への対応訪問は



動画配信中!

※QRコードを読み取ると各議員の一般質問動画が見られます。

【富岡町 公式チャンネル】
YouTube 開設

一般会計 補正予算 学校・漁港等、施設改修費を計上 《15億9756万円を増額》

今回の補正は、ソフト・ハード両面において、復旧・復興のための事業の増額補正があり、予算総額217億890万円となりました。補正のあった主な事業は以下のとおりです。

事業名	補正予算額	総事業費
富岡第一中学校施設整備事業費(プール建設、トイレの洋式化)	4億1842万円増	8億3767万円
鳥獣被害防止緊急対策事業費(鳥獣処分委託料)	3000万円増	4億156万円
照明灯管理事業費(照明LED化)	2700万円増	1億1500万円
図書館事業費(図書購入費)	2452万円増	4680万円
漁港災害復旧事業費(下記参照)	2900万円増	9910万円
常備消防経費(広域圏組合負担金)(下記参照)	1億1033万円増	3億1389万円
福島再生加速化交付金基金積立金	8億9385万円増	11億1217万円
その他(道路橋梁管理費など)	1億5629万円減	

議員が切り込む!! 質疑応答

問 富岡漁港の復旧内容は。(早川恒久)

答 産業振興課長
ウインチ本体、ウインチ小屋、漁具倉庫を整備するための費用として計上しています。

問 荷捌き施設は浪江町の請戸漁港に集約する計画です。

問 町として、富岡漁港をどのように活用していく考えか。(早川恒久)

答 産業振興課長
会員の皆さまが試験操業を繰り返しながらの漁業の再開や、観光的な要素を含んだ釣りの再開などを目指し

ている中で、町として漁業の基盤を作っていくたいと考えています。今後の活用方法については、漁協と町が協議しながら進めていきたいと考えます。



復旧が進む富岡漁港

問 将来的な市場の開設計等を考えても、富岡漁港にも荷捌き施設は必要では。(渡辺三男)

答 産業振興課長
施設整備については、相馬双葉漁協で協議、検討された結果、荷捌き施設は請戸漁港に集約するという整備計画になりました。

問 将来的には富岡漁港にも市場は必要であると考えます。今後、こういった手法がとれるのか、漁協の皆さんとも協議していきたいと考えます。

答 生活環境課長
浪江消防署、富岡消防署、葛尾出張所の施設改修に伴い、建設部材や建築面積の増加などの理由から、増額補正となったものです。



遠藤 一善 議員

問 2期目のまちづくり方針は

答 ふるさと富岡の復興と心の復興を具現化

問 2期目に向けた町長のまちづくりの方針と将来へ向けた重点施策は。

答 町長 避難指示解除は本町の本格復興の第一歩であり、ふるさとの未来を開くための新たなステージを迎えました。一方で放射線量のさらなる低減、生活環境の再生・創出など、継続して取り組むべき課題は残されており、また時間の経過とともに新たな課題も出てきています。こうしたさまざまな課題に一つ一つ丁寧に取り組み、その積み重ねによりふるさとを未来につなげ、本町の将来を切り開きたいと考えます。ふるさと富岡の復興と心の復興を未来志向を持ってしっかりと具現化することがまちづ

問 町内主要県道の整備進捗状況は。

答 復旧課長 小野富岡線の狭小区については、平成32年度には改良舗装工事を行う予定です。広野小高線は現在紅葉川より南側の整備を実施しており、紅葉川より北側、富岡の子安橋のあたりまでは、平成32年度を目指して整備をすすめるかと聞いています。

問 県の動きが見えないのであれば、町道を整備して、大型車輛同士がすれ違えるような道路整備を工夫すべきでは。

答 復旧課長 道路の整備には時間を要しますので、

くりの基本となるものと考えています。そのために

①町民に寄り添った「安心・安全」な、まちづくり

②人と町とのつながり

③富岡町の発展を支える「にぎわい・活力」の創出と帰還困難区域の再生

以上の3つのテーマを町政の柱と位置づけ、各種事業の実施や展開に取り組めます。

また、

①産業の集積による雇用の創出

②健康で安心して暮らすことができる医療福祉の充実

③地域に開かれた学校と教育の構築とふるさと教育を初めとした将来を担う人材の育成

④次世代につなげる農業への着実な取り組み



富岡川河川敷の現況

みと新たな農業へのチャレンジ

⑤本町の魅力と強みを生かした交流人口の拡大、そのための情報発信体制の強化と発信能力の向上

以上の5つが今後のまちづくりを考える上で重要なキーワードになるものと考えています。

問 定住人口の拡大に向けた施策は。

答 町長 清掃補助金、防犯カメラの補助事業等、様々なことを行っています。来年4月には当町の学校が再開することから、教育の無償化を図るべく、検討を進めていきたいと考えています。

問 河川及び用水路の整備促進を

答 町長 基幹産業である農業は、今年に入り3件の個人農家が加わり、またその他の農作物についても取り組む農家が出てきています。未整備の用水路があることは認識しており、今後の整備については営農再開の箇所

計画的に交通ルート等を考慮し、整備箇所を確定させていきたいと考えています。

問 二次復興計画の中で、富岡に追加インターチェンジを整備するとの記載があったが、現在の検討状況は。

答 企画課長 既存の常磐富岡インターチェンジや整備が進んでいる檜葉スマートインターチェンジの活用も視野に入れないながら、総合的、多角的に検討を進め、関係機関との協議を進めているところです。

問 墓参りなど、避難先から町内に戻ってきて気軽に宿泊できるよう、合宿センターを改修し、当面町民専用貸し出す考えは。

答 町長 合宿センター周辺は、里山再生モデル事業などにより、環境整備が行われています。加えて合宿センターとの連

問 道路整備計画の考えは

答 要望状況等を踏まえ計画的に実施



堀本 典明 議員

問 安全の観点から車道の拡幅、歩道の整備など、道路整備計画についての考えは。

答 町長 道路整備において車道の拡幅や歩道の整備を行うには、多くの時間を必要とします。当面は交通の状況を鑑みながら、狭小部の解消や待避所の設置などを検討し、要望状況なども踏まえ道路整備を計画的に行っていくきます。

なお、交通量の分散化のため、町内で行われている工事の各事業者と一方通行で走行することや、迂回路で通行することなどで調整を図っています。

問 二次復興計画の中で、富岡に追加インターチェンジを整備するとの記載があったが、現在の検討状況は。

答 企画課長 既存の常磐富岡インターチェンジや整備が進んでいる檜葉スマートインターチェンジの活用も視野に入れないながら、総合的、多角的に検討を進め、関係機関との協議を進めているところです。



大型トラックのすれ違いは困難



合宿センターの現況

問 合宿センターを町民に貸し出す考えは除染状況や運営体制を踏まえて判断

答 町長 合宿センターは、里山再生モデル事業などにより、環境整備が行われています。加えて合宿センターとの連

携が必要で、総合スポーツセンターも、年次計画により順次改修、復旧工事を行っているところ。合宿センターは、交流人口拡大の観点からも重要な施設であることから、今後周辺の除染などの結果や運営体制などの検討を踏まえて判断していきたいと考えます。



渡辺 三男 議員

問 国際共同研究棟を取り込んだ政策は

答 共同事業の開催を模索する

問 国際共同研究棟を取り込んだ政策は。

答 町長 国際共同研究棟は、廃炉国際共同研究センターの中核的拠点施設であり、廃炉研究の強化、中長期的な人材育成機能の強化を目的とした施設です。国内外の大学・研究機関・企業などからの英知を集集する場として、同研究棟に集う方々と町民との交流などを通じ、本町の活性化を図られるような共同事業の開催を模索しているところです。

問 これから商工会などのような政策でかかわっていくのか。

答 町長 震災後富岡町商工会には、被災事業者の現状を鑑み、商工者に寄り添い事業

再開に向けた各種相談業務、最近ではプレミアム商品券の販売や夏祭りなどの各種町内イベントにおいてもご協力をいただいています。今後は、町との連携強化のため、本部機能を町に戻すよう求めるとともに、商工業者の事業再開支援、えびす講市などの町内賑わい創出のためのイベントや各種事業を進め、町商工振興に努めてまいります。

問 新たに造成する産業団地の完成はいつか。

答 町長 上郡・太田地区に計画している産業団地は、来年度中に造成工事などを着工し、平成32年度完成を目指して詳細設計や事業用地の取得作業を進めているところです。



産業団地予定地(上郡)

問 どのような方法で企業を誘致するのか。

答 町長 四倉中核工業団地に入居している町事業者などへのヒアリングや、JAEAなどを通じて、関連事業者へのPRを行っています。今後は官民合同チームの協力を得ながら、企業へアプローチするとともに、企業セミナーなどに私みずから参加し、トップセー

問 復興拠点整備の範囲は全体構想で範囲を示すか。

答 町長 特定復興再生拠点の整備範囲はどこまでと考えているか。

答 町長 特定復興再生拠点区域の範囲は、想定する土地利用の実現性や地域コミュニティの確保などを最大限考慮した上で、現在策定を進めている全体構想で考え方を示したいと考えています。

問 側溝の除染はフロアアップ除染により線量の低減を図るのか。

答 町長 側溝の除染は、環境省が道路除染を実施する際に合わせて行ってきました。蓋の上面は堆積物の除去や高圧水による洗浄を行い、側溝内部は蓋を外して洗浄除染し、洗浄水はバキューム車による吸引、回収を行っています。

問 側溝の除染は手つかず状態になっているが、町の考えは。

答 町長 側溝の除染は、環境省が道路除染を実施する際に合わせて行ってきました。蓋の上面は堆積物の除去や高圧水による洗浄を行い、側溝内部は蓋を外して洗浄除染し、洗浄水はバキューム車による吸引、回収を行っています。

拠点区域と設定されなかつた区域についても、復興再生に取り組み時期や支援策を示すよう国に働きかけていきます。

除染完了後も放射線量が高い場合には、フローアアップ除染の中で堆積物除去や高圧水洗浄により線量の低減を図っていきます。



安藤 正純 議員

問 生活サポート補助金を創設せよ

答 活用事業選択の中で総合的に検討

問 大熊・双葉両町のような生活サポート補助金制度を創設すべきでは。

答 町長 福島県より交付される特定廃棄物埋立処分事業地域振興交付金は、ふるさととの結びつきを維持するための事業などに幅広く、そして可能な限り長期に活用できるように、活用事業を選択していきたいと考えています。

問 移住または将来帰還の意思はあるが、避難中の町民に対する支援は。

答 町長 町は、人と町とのつながりアクションプランを策定し、

町外生活を支える施策を行っています。また、避難生活を送る町民同士の交流イベントの企画や各地域に設立された自治会への活動支援も行っています。

答 企画課長

現段階では使えるかどうか県に確認しなければなりません。個人の資産形成には使えないということはご理解いただきたいと思っています。

問 国や県になりわいの復活に対する支援を求めるべきでは。

答 産業振興課長 県や町で補助制度を設けながら、事業再開に対する支援に努めているところです。12市町村内外で補助率に差があることについては、不公平感を感じるといって指摘もありますので、国や県に様々な場面で伝えていきたいと考えています。

答 復興拠点整備計画の進捗は

問 復興拠点整備計画の進捗は。

答 町長 今年度末の国の計画認定を目指し、拠点区域の設定並びに復興及び再生を推進するための計画を策定しています。

問 帰還困難区域に建物を持つ方が家屋解体を申し込んだ時点で、被災者生活再建支援制度の該当となるように働きかけてほしいが。

答 企画課長 建物を解体しなくても支援金を申請できないかという点については、まだそこまで

問 帰還困難区域に建物を持つ方が家屋解体を申し込んだ時点で、被災者生活再建支援制度の該当となるように働きかけてほしいが。

答 安全対策課長 解体を前提とした申請であれば、被災者生活再建支援制度の該当となるよう、国に要望していきたいと考えています。



解体に制限のある帰還困難区域内の建物

庭木・庭石は解体時に撤去の方針

全員協議会

平成29年6月29日及び9月6日、富岡町役場 全員協議会室で全員協議会を開催し、環境省より除染・解体についての説明を受けました。

議員からは町内全域の徹底した除染を求める声や、線量が高い傾向にある庭木・庭石を除染や解体を実施する際に撤去を求める声が多く聞かれました。

【除染の進捗状況】

- 避難指示解除済エリアの宅地に近接する帰還困難区域の除染(キワ除染)
 - ・深谷地区：29年3月着手、8月末完了。
 - ・大熊町との町境：29年8月、事前調査実施。
- 夜の森地区の先行除染
 - ・29年6月、現場作業に着手(夜の森公園) 同意取得率：93%
- フォローアップ除染
 - ・住民からの要望への対応…除染計画を作成。うち136件で関係人立会を実施。
 - ・宅地隣接森林への影響が疑われる案件…595件抽出。関係人へ連絡、現地調査を実施中。
 - ・公道…133件の除染計画を作成。協議が整ったものから順次施工中。
- 里山再生モデル事業(グリーンフィールド及びその周辺)
 - ・29年3月着手、9月中完了見込み。

【解体の進捗状況】

- 解体申請件数・解体実績(29年8月末現在)
 - ・申請総数：2,265件 解体実績：1,605件
- 解体支障物への対応
 - ・昨年度までの解体案件1,226件中、約1050世帯へ連絡済み。約60世帯の撤去完了。
 - ・今年度解体工事でも建物解体と合わせて撤去を実施。
- 解体申請の受付期限
 - ・解除済み区域の解体申請期限を今年度末に設定。特段の理由がある場合は柔軟に対応する。

問 環境省
敷地ごとではなく、地区の代表的な箇所で試験施工を行い、その結果をもとに、原則的にその地区全てに適用する考えです。

答 環境省
敷地ごとではなく、地区の代表的な箇所で試験施工を行い、その結果をもとに、原則的にその地区全てに適用する考えです。

問 除染の試験施工は敷地ごとに行うのか。(遠藤一善)

答 環境省

問 解体に限らず、除染でも線量の高い庭木、庭石は撤去してもよいのか。(渡辺三男)

答 環境省

議員が切り込む!!
質疑応答

問 解体申請の受付期限が今年度末であることをもっと住民に知らせるべきでは。(安藤止純)

答 環境省
解体申請の受付期限と庭木・庭石の撤去費用負担については、町とも協議しながら、広報等で周知していきたいと考えます。

問 既に解体を実施した方には個別に連絡していますので、周知はできていると考えます。

答 環境省

問 家屋解体後の庭木・庭石の撤去費用を環境省が負担することをもっと周知すべきでは。(安藤止純)

答 環境省



高野 匠美 議員

問 帰町された方への対応訪問は

答 週2回の訪問活動を実施

問 健康福祉課長
現在、民生委員の方には各避難先で訪

問 民生委員の訪問活動は。

答 健康福祉課長
この訪問活動は、町内移住者全てを対象としており、訪問時話をしながら訪問計画を立てています。今後もこれらの活動を継続し、安心して暮らせる町づくりを努めていきます。



訪問活動の様子

問 訪問記録の情報は関係各所で共有できているのか。

答 健康福祉課長

3者で情報を共有しており、会議も開催しながら問題の解決を図っています。

問 避難指示解除区域で除染されていない場所はあるのか。

答 復興推進課長

避難指示解除区域で、現在30人ほど除染の同意が得られていません。その他の除染の対象となったエリアについては、すべて除染が完了しています。また、町内の山林などはまだ除染されていない状況です。

問 定期的に放射線量の測定はしているのか。

答 復興推進課長

定期的な測定も行っているわけではありませんが、町民からの要望があれば、環境省及び町で線量を測定しています。

問 キワ除染の進捗状況は。

答 復興推進課長

深谷地区は完了しています。また、大熊町と蛇谷須地区の境の部分で、蛇谷須地区の宅地への影響が考えら

問 本人から除染の同意がとれない場合の対応は。

答 復興推進課長

除染の同意がとれない方については、町全体で情報を共有しています。当課や環境省で接触できない方も、別のアプローチで連絡がとれる場合もありますので、各課で連携しながら、様々な方法でアプローチをし、同意の取得、除染を進めていきたいと考えます。

問 避難指示解除エリアに隣接する宅地に住んでいる方への対応は。

答 復興推進課長

避難指示解除エリアの宅地に隣接する帰還困難区域の除染

問 避難指示解除エリアに隣接する宅地に住んでいる方への対応は。

答 復興推進課長

そういった宅地は全て除染が必要であると考えていますので、キワ除染の対象区域としたところです。今後、対象となる方をしっかりと把握し、その宅地に影響がある帰還困難区域側の除染が必要かどうかも含めて、検討していきたいと考えます。

産業復興常任委員会

総務常任委員会

Q リフォームで発生するごみを産業廃棄物処理業者が引き受けてくれないという話を聞くが、実態は。

A 本年4月、浪江町に県の産業廃棄物協会の窓口ができました。町はそちらと連絡をとり、現地で線量を測定してもらうとともに、受け入れ先を探してもらうという流れで対応しています。実態については再度確認し、不都合のないよう対応します。

【復興推進課】

Q 町内のイノシシ等がものすごく増えていると感じる。対策は。

A 鳥獣被害対策実施隊の方に有害鳥獣の正確な情報をお伝えすることはもちろん、箱罠をフル活用し、またくくり罠の設置も検討しながら、様々な捕獲対策を講じていきたいと考えます。

【産業振興課】

Q 復興支援バスの利用者が少ない。ルートなどを再度周知しては。

A 補助金を充てている事業であるため、仮設住宅を組み込んだ特定のルート設定になってしまうことから、利用しづらい面もあるかと考えます。主に仮設住宅にお住まいの方にお知らせをしているところですが、さらに広く周知していきたいと考えます。

【いわき支所】

Q 宗教的物品の回収方法は。

A 共同墓地及びお寺で回収を実施しています。町が敷地内に水色のバケツを設置し、そちらに入れてもらう形をとっています。対象となる物品は、塔婆やお守りなどです。

Q 供物は。

A 震災後、お墓へのお供えはご遠慮いただいているところです。またお花はごみステーションに出していただくよう、ご案内しています。

【生活環境課】

Q 草刈りや掃除など、各地区の集会所の管理はどのようにしていくのか。

A 各行政区で状況が大きく違いますので、今後、行政区長等と話し合いの場を持ちながら、それぞれの地区の集会所のあり方について検討していきます。

【総務課】

Q 上郡地区の産業団地について、町内事業者の早期事業再開のために、一部の工区だけでも造成を早めることはできるか。

A 現在、産業団地の造成に向けた設計を進めています。今後、県との話し合いの中で、工区分けができるかどうか協議していきます。

【企画課】

Q 学びの森の図書館の再開時期はいつ頃か。

A 現在蔵書点検をしており、約1万冊の本の入れ替えが必要であると考えています。また、開館時間や勤務体制など、様々な点を考慮した上で、できる限り早期の開館を目指して、準備を進めます。

【教育委員会】

Q 総合検診が富岡で受診できるようになるのはいつ頃か。

A 現在の計画では、郡山・いわき・白河・福島の4地区で総合検診を実施する予定です。しかし、町内で検診を受けたいという方もいらっしゃることから、12月に町内で総合検診を受けられるよう福島県保健衛生協会と協議を進めています。

【健康福祉課】

常任委員会とは、本会議前に各課の事務の執行状況それぞれの常任委員会が調査し、議案などを事前に審査したり、などを調査する場です。その調査した主な事業について報告します。



現地視察 特定廃棄物埋立処分場の安全を確認

今秋より、環境省は、当町と檜葉町の境にある特定廃棄物埋立処分場
富岡町議会は、廃棄物の搬入を目前に控えた平成29年8月23日、

場に廃棄物の搬入を開始します。
埋立処分場の安全を確認するために、現地視察を実施しました。



放射線検査機

○退出車両の放射線量確認ゲート

廃棄物を荷下ろしした後、輸送車両の表面汚染密度を測定し、車両に汚染がないことを確認。

【基準：13,000cpm】

答 環境省
現在は1万3千cpmを基準として運用していますが、ご指摘を踏まえて今後の運用を検討します。

問 車両退出時問題ないとしている線量の基準が高すぎる。基準を下げる必要があるのでは。(渡辺三男)

答 環境省
搬入時も敷き鉄板の上を走行させるなど、タイヤと土が接触しないような埋立をします。さらには、退出時にタイヤを洗浄し、線量を確認します。

問 道路を汚染しないための対策は。(塚野芳美)



処分場整地状況

○埋立方法

- 上流側区域：セメント固形化した廃棄物
- 下流側区域：セメント固形化しない廃棄物
- 埋立廃棄物の下部及び中間層に土壌層を敷設。セシウムを吸着させる。
- 作業を実施していない区画はシートで覆う。

よって、搬入される廃棄物には含まれていないと考えますが、当該施設にはβ線を検出する装置もありますので、そちらでストロンチウム等を検出できると考えています。
また、月に1回はゲルマニウム半導体検出器によって、より精密に測定しますので、安全性は保たれると考えます。

問 廃棄物搬入後、ストロンチウムやトリチウムを検出できる設備を持つべきでは。(安藤正純)

答 環境省
ストロンチウムやトリチウムはモニタリング調査の結果から、福島第一原発構内に留まっており、外には出ていないと考えています。

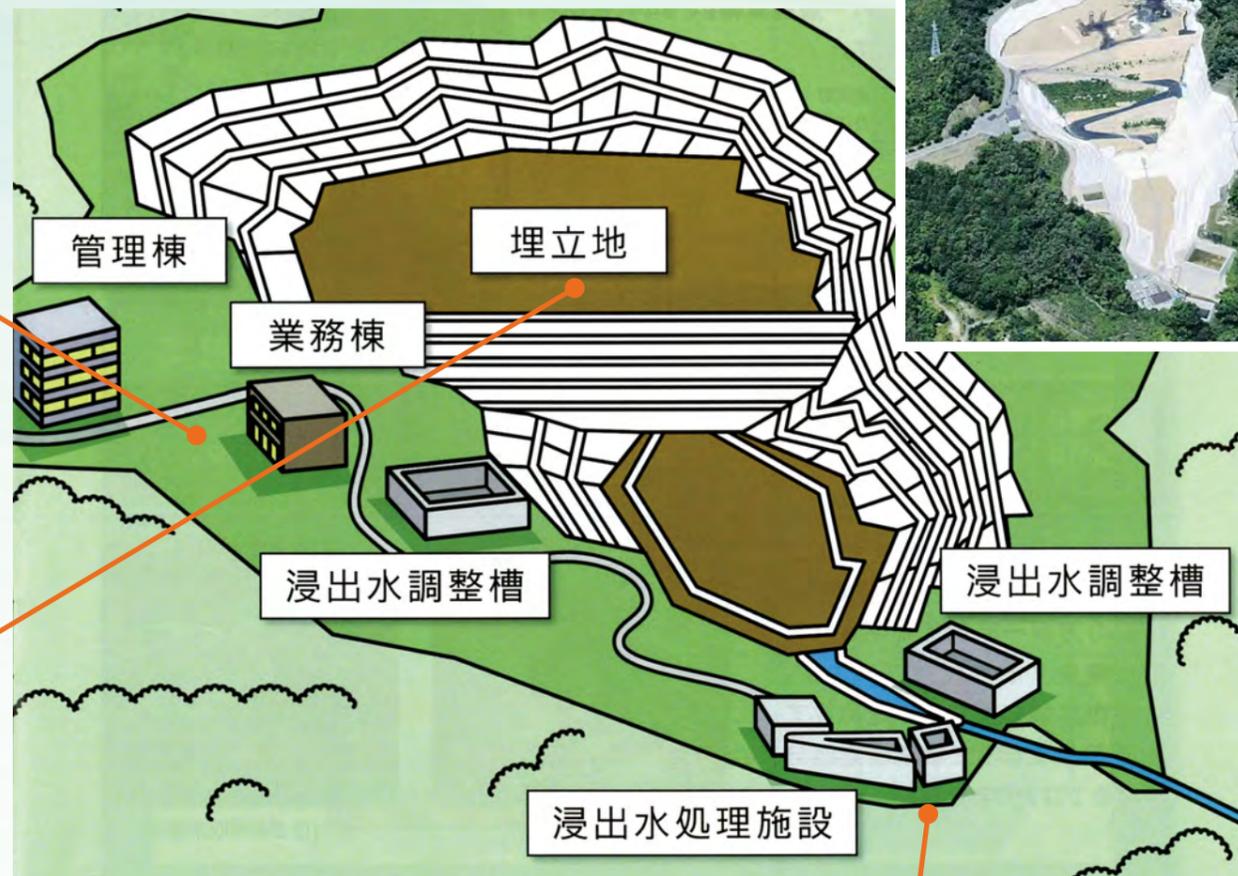
問 搬入基準を超えた廃棄物が運び込まれた場合の対応は。(渡辺三男)

本処分場で収納容器を開け、測定の結果、基準に合致しない廃棄物であった場合には、搬出元に返すという対応になります。

問 搬入基準を超えた廃棄物が運び込まれた場合の対応は。(遠藤一善)

答 環境省
本処分場で収納容器を開け、測定の結果、基準に合致しない廃棄物であった場合には、搬出元に返すという対応になります。

問 排水される水の水質は。(渡辺高一)



※環境省「特定廃棄物の埋立処分事業」リーフレットより引用



浸出水処理施設

○浸出水の処理

- 1日に排出される処理水……150トン
- 不透水性土壌層には勾配をつけ、雨水が侵入しても速やかに排水。
- 浸出水処理施設の処理水のセシウム濃度を監視。基準を超えた場合は、ゼオライト吸着塔で取り除く。

答 環境省
本処分場は雨水は雨水として排出し、浸出水は処理施設を通して排出する構造になっています。
また、1時間あたり130ミリの大雨にも対応できるつくりですので、安全性は確保できると考えます。

問 記録的な大雨が降った場合の対応は。(安藤正純)

答 環境省
有機物質の汚濁の指標は08で排水しています。県内の河川の基準が2ですので、川の水よりもかなりきれいな状態で排水しています。

汚染水対策をしっかりと示せ

平成29年9月6日に開催した原子力等特別委員会で、福島第一原子力発電所第1号機から4号機の廃止措置等に向けた中長期ロードマップの進捗状況について、東京電力ホールディングス(株)より説明を受けました。

議員からは、中・長期的な観点での汚染水対策をしっかりと地域住民に示すべきだとの意見や、東京電力と地域住民が直接対話できる機会を設けるべきだとの意見が出されました。

【TOPICS】

- 陸側遮水壁の完全閉合開始
8/22より、残っていた未閉合箇所の凍結を開始
- サブドレンNo.51の水位低下
8/2、4号機サブドレンNo.51の水位が一時的に建屋の水位を下回った。周辺地下水の放射性物質濃度は過去の変動の範囲内で、水位低下の影響は確認されていない。
- 1号機建屋カバー改造工事の進捗状況
ガレキ撤去作業時のダスト飛散を抑制する防風フェンスの設置を進めている。
- 3号機燃料取り出し用カバーの設置状況
8/29、1つ目のドーム屋根の設置が完了。9月には2つ目のドーム屋根を吊り込む予定。

問 建屋に流入する水量を減らすために、地下水バイパスを増やす考えは。(安藤正純)

答 東京電力(株) 現在の地下水バイパス及び凍土遮水壁の設置環境で、流入水の処理は十分可能であると考えています。

問 今のまま汚染水が増え続けると、第二原発構内に保管できる汚染水の許容量を超えてしまうのでは。(安藤正純)

答 東京電力(株) 現在、建屋への流入水を減らすとともに、汚染水を

保管するタンクの増設も行っています。計算上は、平成32年までは汚染水を十分保管できる計画です。その後についても、しっかりと精査しながら、安全に汚染水処理を進めていきたいと考えます。

問 東京電力(株)と町民が直接対話できるような機会を設ける考えは。(高野匠美)

答 東京電力(株) 町と相談し、そのような機会があればどこにでも行き、現状の説明やご意見を伺う考えです。

議員が切り込む!!
質疑応答

問 復興本社が実施している家屋の片づけの実績は。(早川恒久)

答 東京電力(株) 4月から7月までの4か月間で、町内154世帯の家屋の片づけを実施しています。それ以外に宅地周りの除草を180件ほど行っています。

問 町民から、家屋の片づけや除草は大変ありがたいとの声が多く聞かれる。増員する考えは。(早川恒久)

答 東京電力(株) 片づけや除草を行う作業員の安全性に配慮しながら、この活動に対する支援者の数を増やし、できる限りご要望に応じていける体制を整えたいと考えます。

追跡
れぱーと



議員提言のゆくえ

追跡①

問 イノベーション・コースト構想への対応は

答 双葉郡に均衡ある産業集積を求める

(平成26年9月定例会堀本典明議員一般質問)



廃炉国際共同研究センター

双葉郡に産業が集積 廃炉やロボット技術に関する研究開発拠点に

富岡町: 廃炉国際共同研究センター (国内外の大学、研究機関、企業等が集結、廃炉研究と人材を育成)

大熊町: 大熊分析・研究センター (高濃度放射性物質(燃料デブリ等)性状把握、処理技術の開発)

楢葉町: 楢葉遠隔技術開発センター (格納容器の調査・補修用ロボット開発・実証、燃料デブリ取り出し実証試験)

浪江町・南相馬市: 福島ロボットテストフィールド

(ロボットの使用が想定される多様な環境を模擬できる大規模な実証フィールド)

南相馬市: 国際産学官共同利用施設 (国内外の研究者が集い、ロボットの基礎的・基盤的な研究を実施)

追跡②

問 帰還困難区域の早期除染が必要 除染計画を示せ

答 除染の実施を強く求める

(平成27年9月定例会遠藤一善議員一般質問)



帰還困難区域の一部除染を実施

主要接続道路周辺の除染を実施 特定復興再生拠点区域を設定し、除染

○平成28年8月

帰還困難区域と居住制限区域との隣接部から、おおむね50メートル範囲の除染を開始。

続いて、桜並木と夜の森公園、桜並木への主要接続道路の端から、おおむね50メートル範囲の除染も実施された。

○平成29年5月

福島特措法の改正により、帰還困難区域内に帰還者の居住を可能とする区域の設定が可能となる。

町は拠点区域を定め、復興再生計画を作成。国が計画を認定し、拠点区域等の除染を行う。

復興へのあゆみ

昨年行った意見交換会や様々なイベント等で、『富岡町から遠く離れた土地で長く避難生活を送っていると、皆様の先が見えない不安を富岡町の現状を

町民の方から多く聞かれるのは『富岡町が今どうなっているのかわからない』という声です。少しでも解消できるように、お伝えします。

②有コム口が営業を再開



6月19日、ガソリンスタンド「コム口」が夜の森で営業を再開しました。
《営業時間》7:00~19:00(日曜・祝日は休業)
夜の森3丁目48番地 ☎0240-22-3367



③大東銀行富岡支店が営業を再開



9月19日、大東銀行富岡支店が営業を再開しました。
《営業時間》月~金 9:00~15:00
ATM(毎日) 8:00~21:00
本町二丁目36番地の1 ☎0240-22-2165



エレベーターも設置された駅舎



6年半ぶりの開通



「さくらステーションKINONE」
営業時間:【物販】7:00~18:00
【飲食】10:00~18:00



【10月17日 富岡ホテルが開業】
シングル:66室
ツイン(バリアフリー対応):3室
☎0240-22-1180



【災害公営住宅(集合住宅)を整備】
2DK...13戸 2LDK...27戸
単身世帯・ペット可
入居決定...39戸(10月5日現在)



ちよととと

みなさまの声

10月21日に再開する富岡駅の新駅長に今橋武弘さんが着任されました。

Q. 富岡駅の再開について、どのように感じていますか。

A. 東日本大震災の津波被害で流された富岡駅の風景は今でも忘れられません。

震災後6年7か月が経過し、常磐線の竜田～富岡間の運転再開に合わせて、新駅舎で富岡駅が再開できることは鉄道事業者として大変嬉しく思います。

これを機に復興が一段と加速し、富岡駅をご利用になる地域住民の皆様の利便性が向上することを心より願っております。

Q. 富岡町民の皆さんへメッセージをお願いします。

A. 今年4月に富岡エリアの避難指示が解除されましたが、富岡駅周辺はまだ賑わいが戻っておりません。今回の富岡駅の再開に合わせて、物販・飲食併設店舗「さくらステーションKINONE(きのね)」をオープンいたします。富岡町民の皆様には駅及び店舗をご利用いただき、皆様に愛される駅づくりを行ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

また、残された不通区間の富岡～浪江間については、2019年度末の全面運転再開を目指して復旧工事を行っております。ともに一步一步前に向かって進んでいきましょう。



いまはしたけひろ
今橋武弘さん(55歳)
茨城県日立市出身

【略歴】

昭和56年4月 国鉄に採用(勝田駅)
昭和62年4月 JR東日本水戸支社に採用
平成12年3月 東京支社総合指令室指令員
平成19年5月 水戸支社輸送指令室指令長
平成25年6月 水戸支社営業部企画課副課長

議会を傍聴しませんか？

- 12月定例会は、13日(水)～14日(木)の会期で開催する予定です。
- 所定の用紙に、住所・氏名・性別・年齢(○歳代)を記入いただくだけで、どなたでも傍聴することができます。
- 審議日程など、詳細については議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 ☎0240-22-2111



委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長
渡辺英博	遠藤一善	高野匠美	渡辺正道	渡辺高一	堀本典明	塚野芳美

議会報編集特別委員会

発行責任者

表紙を飾るのは震災から7年ぶりとなる町内での富岡町敬老会の様子です。
今年には行政区ごとに席を設けていただき、話に花が咲いて楽しそうです。金婚・ダイヤモンド婚を迎えられたご夫婦の皆さま、誠におめでとうございます。

今後、富岡町は「避難指示を解除された区域」「特定復興再生拠点区域」「拠点として設定出来なかった区域」の3つの区域となりますが、町と議会はふるさととの復興再生に向け、山積する課題に全力で取り組んでいきます。

『みなさんの笑顔』
来年も楽しみに待っています。
(渡辺 高一)

編集後記

この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。



富岡町議会公式
ホームページ



富岡町議会

で 検索

